

横浜の緑に関する市民意識調査及び 土地所有者意識調査の結果について

横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、財源の一部に「横浜みどり税」を活用した、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

この取組の成果を検証しながら、今後の緑に関する施策を検討する際の基礎資料とするため、横浜の「緑や花」に関する意識や樹林地・農地を所有・維持するうえでの課題等を伺う調査を行いました。

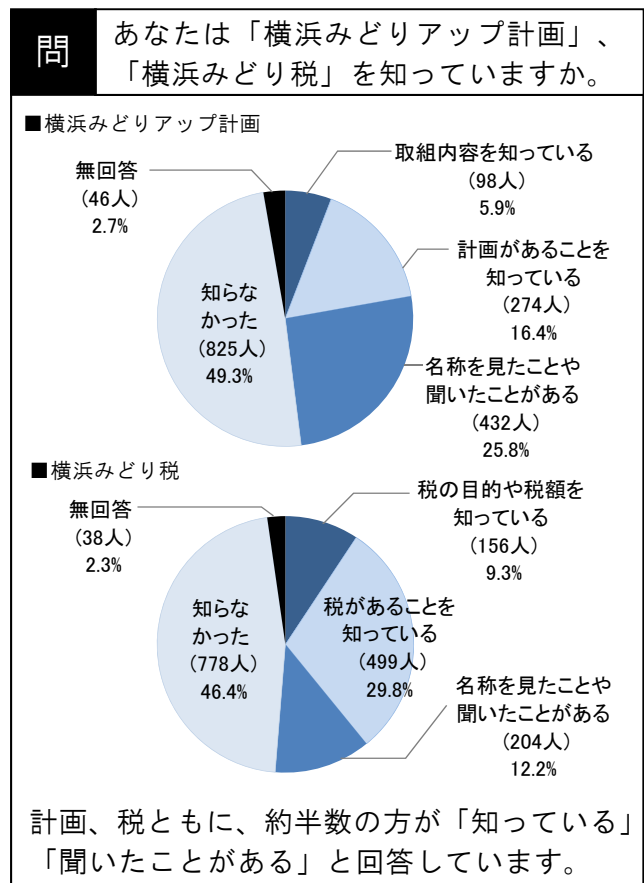
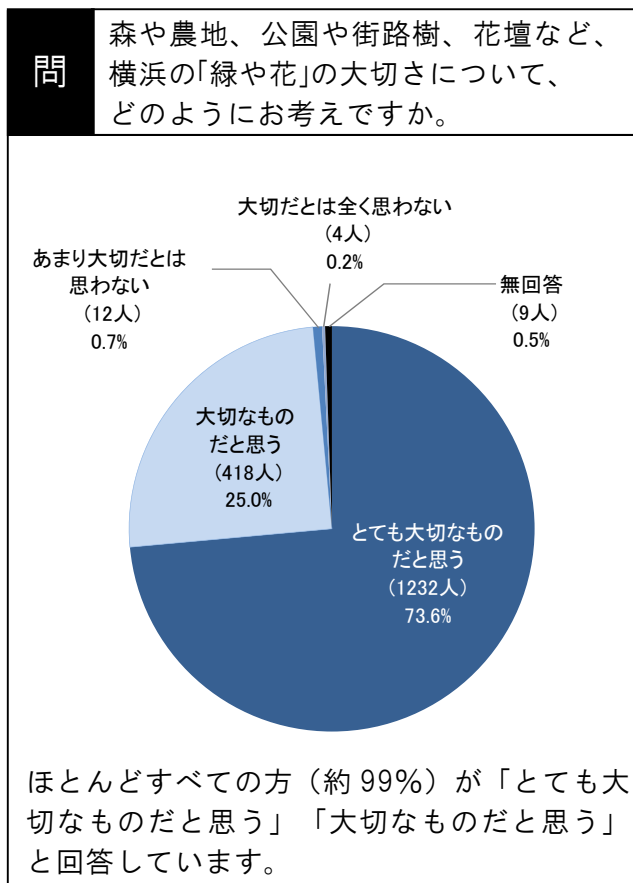
この度、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。今後、分析を行い、具体的な施策の検討に活用していきます。

横浜の緑に関する市民意識調査

1 調査概要

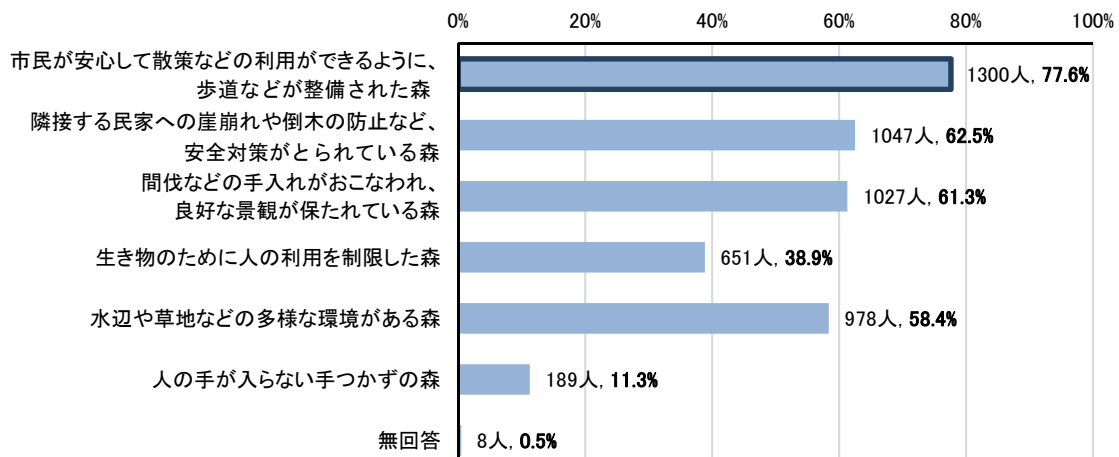
- (1) 調査対象 市民 5,000 人（住民基本台帳の満 20 歳以上の市民から無作為抽出）
- (2) 実施期間 平成 29 年 7 月 6 日（木）から 21 日（金）まで
（7 月 31 日までに到着したものを集計）
- (3) 調査項目 森や農地、街なかの緑など、横浜の「緑や花」の大切さ、どのような緑があると良いか、緑との関わり方等
- (4) 回収数 1,675 票（回収率 33.5%）

2 回答結果の一例



問

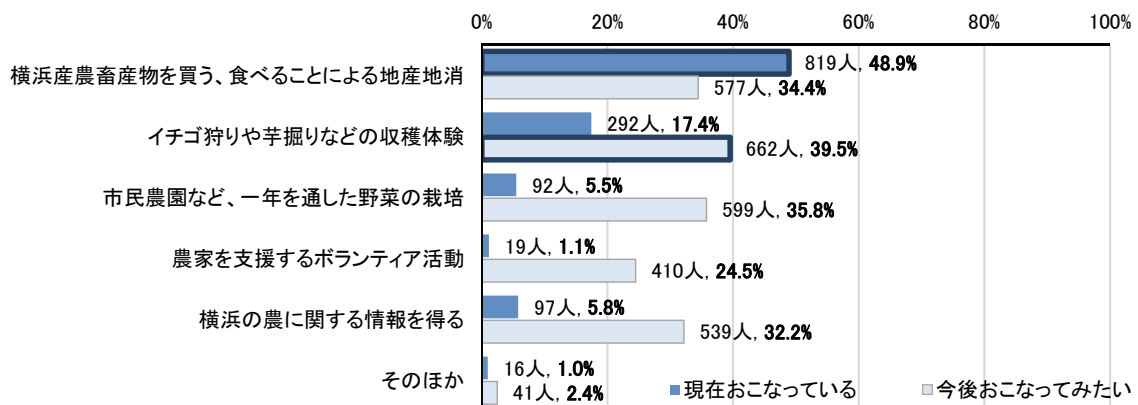
どのような森があったら良いと思いますか。（複数回答可）



「市民が安心して散策などの利用ができるように、歩道などが整備された森」が最も多い回答（約78%）でした。

問

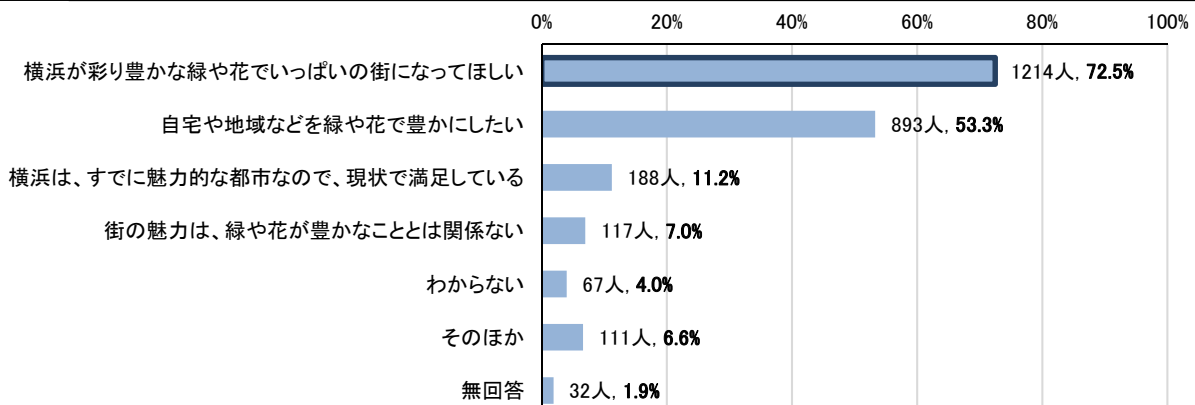
農に関することについて、現在おこなっていること、今後おこなってみたいことはどんなことですか。（複数回答可）



現在おこなっていることは、「横浜産農畜産物を買う、食べることによる地産地消」が最も多い回答（約49%）でした。今後おこなってみたいことは、「イチゴ狩りや芋掘りなどの収穫体験」が最も多い回答（約40%）でした。

問

横浜市では、緑や花による街の魅力づくり、賑わいの創出にも取り組んでおり、第33回全国都市緑化よこはまフェアを開催しました。このことに関連して、あなたの考えについて、あてはまるものはどれですか。（複数回答可）



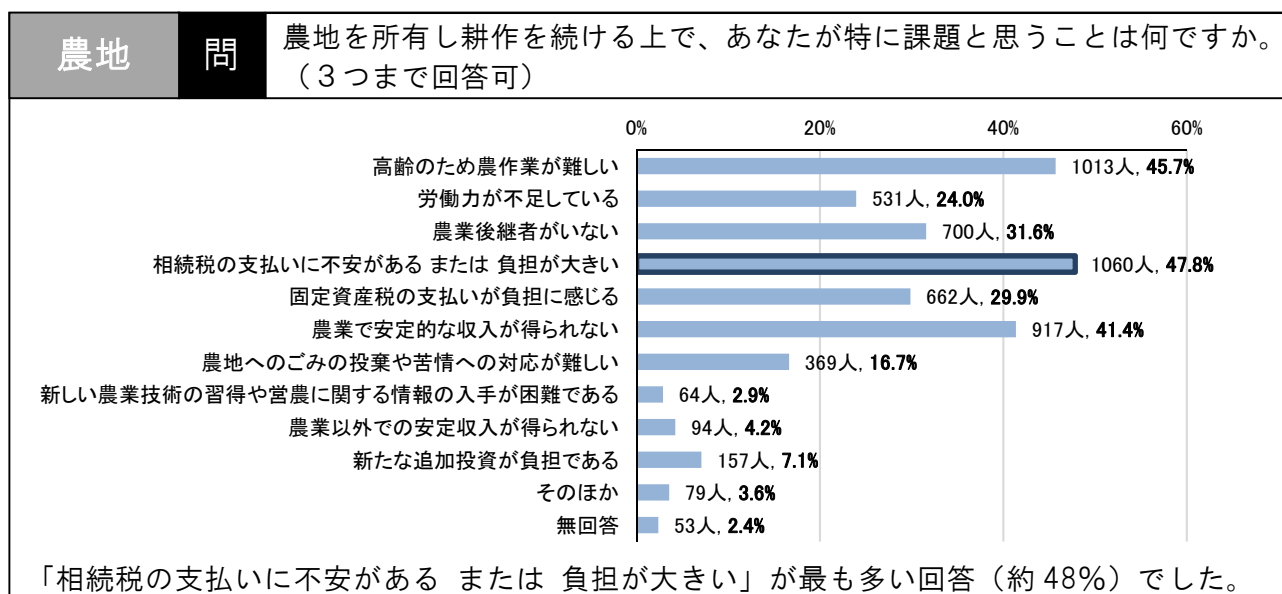
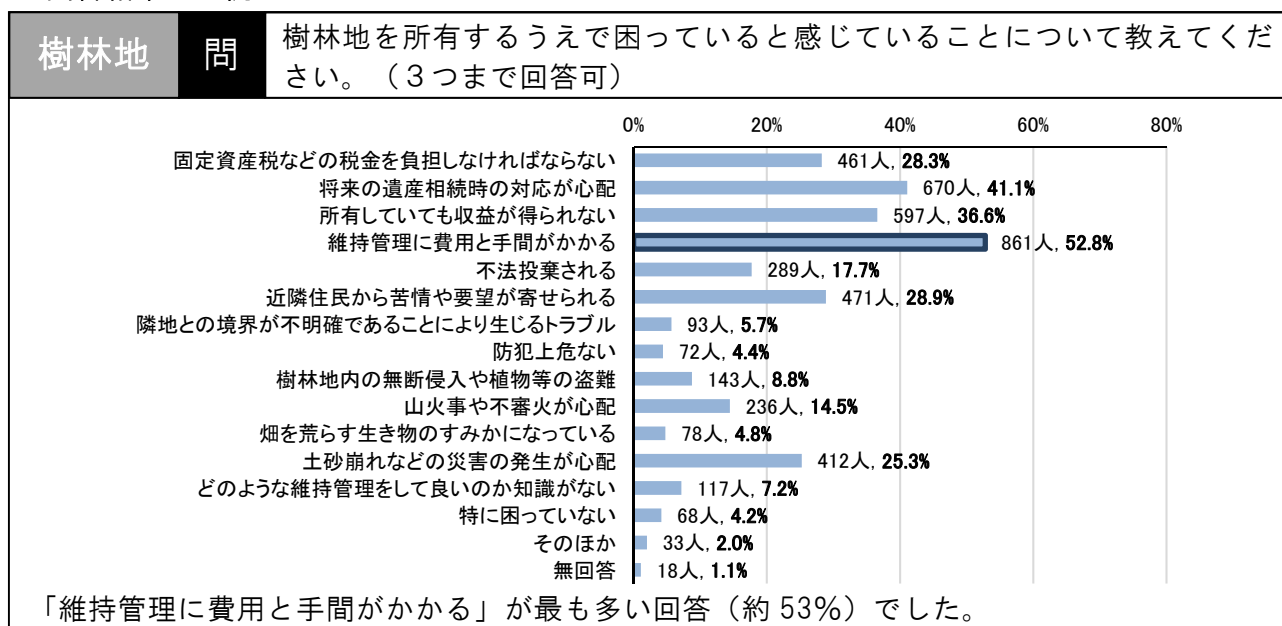
「横浜が彩り豊かな緑や花でいっぱいの街になってほしい」が最も多い回答（約73%）でした。

横浜の緑に関する土地所有者意識調査

1 調査概要

- (1) 調査対象 樹林地：4,612 人（一筆 500 m²以上の山林所有者）
農地：5,903 人（1,000 m²以上の農地所有者）
- (2) 実施期間 平成 29 年 7 月 6 日（木）から 21 日（金）まで
（7 月 31 日までに到着したものを集計）
- (3) 調査項目 樹林地：樹林地を守るための課題等
農地：農地を守るための課題等
- (4) 回収数 樹林地：1,631 票（回収率 35.4%）
農地：2,216 票（回収率 37.5%）

2 回答結果の一例



※上記は回答結果の一例です。設問項目及び回答結果については、環境創造局のホームページ（<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/data/midori-chousa/midorichousa2017.html>）に掲載しています。

お問合せ先	
環境創造局政策課	みどり政策調整担当課長 網河 功 Tel 045-671-2473